

第 1 学年 竹組 算数科 略案

指導者 齋藤 由紀子

1. 日 時 9 月 27 日 (火) 2 校時 (9 : 20 ~ 10 : 05)
2. 単元名 ふえたり へったり (1 / 3)
3. ねらい ○ 3 口の数の加減混合の意味とその計算のしかたを理解し, その計算ができるようにする。
4. 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備考
9:20	1. 教科書 65 ページの絵を見て, どんな場面か話し合う。	・ 話し合いから, 増える数, 減る数を把握する。	・ 教室の前で児童を観察。	
9:27	2. 立式する。	・ 降りたり乗ったりが混在している場合も, 1 つの式に表してよいことに気付くことができるように, お話通りにブロックを操作する時間を作る。		
9:35	3. 計算のしかたを考える。	☆ 既習の加法や減法の考え方を適用して発展的に捉えている。(観察・発言)	・ 児童の発言を聞き, 助言する。	
9:40	4. 計算のしかたをまとめ, 練習する。	・ 上位の子もさらに力を伸ばせるようにようにシートを数種類用意する。 ☆ 3 口の加減混合計算のしかたを理解している。	・ 早く練習問題をやり終わった子どもに発展的な問題を出題する。計算やブロックの動きに合わせた立式等。)	
10:00	5. 学習を振り返る。	・ 本時の学習で自分が伸びた点を見つけるよう促し, がんばりを認める。	・ 3 口の計算の良さや発展性など, これからの学習を意欲につなげるお話を	